

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	在宅経験がないスタッフが訪問看護ステーションで働く時 ～不安を軽くする要素～
演者名	平澤 利恵子 芳賀 大治郎 伊藤 久美子 菅原 良枝 高橋 真美
所属	くくる花巻訪問看護ステーション

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告      2. 症例シリーズ報告      3. コホート研究 4. 症例対照研究      5. 調査研究      6. 介入研究      7. 二次研究 8. 質的研究      9. その他研究	NO.
		5

[目的]

当訪問看護ステーションに所属する職員は、管理者を除き、在宅経験がないまま就職している。未経験の分野で働き始めた時、在宅ケアを提供する上でどのようなことに不安を感じたかを知り、解決できた要因を探ることで、就職時の不安を取り除く要素を明らかにする。

[方法]

平成 25 年 1 月 (開設時) から平成 26 年 9 月の期間、当訪問看護ステーションで勤務した看護師 7 名、理学療法士 1 名、作業療法士 2 名に対してアンケートを実施し、在宅サービス提供にあたっての不安、不安を解消したものに分けて自由記載してもらい、カテゴリーに分けて分析した。

[結果]

在宅サービス提供にあたっての不安は 140 の回答があった。その回答内容は、一人で訪問することの不安 (27%)、急変時の対応 (18%)、アセスメントに対する不安 (13%)、道順 (10%)、ニーズに基づいたケア提供ができていないか (10%)、病院と在宅の違いに対応できるか (8%)、主治医とのやり取り (7%)、他領域分野に関する質問に答えられるか (5%)、多職種との連携 (2%) という 10 のカテゴリーに分類できた。この不安を解決した要因として挙げられたのは 130 回答で、スタッフに聞く (35%)、経験する (20%)、同行訪問 (17%)、自己学習 (15%)、研修会に参加 (8%)、利用者や家族の反応 (5%) の 6 項目に絞られた。

[考察]

訪問看護ステーションで働くスタッフは、ほとんどが病院や施設での就業を経て就職している。今回の結果から、在宅経験がないスタッフが就職した際に必要なのは、既存スタッフが「聞きやすい環境」をつくること「上手に経験させること」「同行する機会を意識的につくること」「自己学習の時間を持たせること」「研修会に参加の機会を与えること」が必要であることが明らかになった。この経験から徐々に自信が付き「利用者や家族の変化」を実感し、やりがいを持って働けるのではないかと考える。